

## 第11回新居浜市レジ袋削減推進協議会議事録

- 1 開催日時 平成24年 8月29日(水) 14:00~16:10
- 2 開催場所 新居浜市消防庁舎4階 コミュニティ防災センター
- 3 出席者  
(新居浜市) 会長 環境部長  
事務局 環境部総括次長、ごみ減量課長  
ごみ減量課副課長、ごみ減量課係長  
(スーパー) コープえひめ、(株)フジ、マックスバリュ西日本(株)、イオンリテール(株)  
(株)マルナカ、(株)ママイ、(株)マルヨシセンター、(株)レデイ薬局  
(市民団体等) にいはま環境市民会議、にいはま消費者友の会、グループさつき生活学校  
新居浜市女性連合協議会、新居浜商工会議所
- 4 欠席者  
(スーパー) (株)木村チェーン  
(ドラッグストア) (株)大屋マック  
(ホームセンター) ダイキ(株)
- 5 報道関係  
2社(愛媛新聞、ハートネットワーク)

### 6 内 容

(事務局)

定刻が参りましたので、ただ今から第11回新居浜市レジ袋削減推進協議会を開催いたします。木村チェーンさん、マックさん、ダイキさんからは欠席とのご連絡をいただいております。

また、本協議会は「公開」を原則に開催いたしております。では、会長に議事をお願いしたいと思います。

(会長)

皆さんこんにちは、環境部長の曾我です。よろしくお願ひいたします。

本日は、お忙しい中、また遠方より多数のご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。前回の協議会を6月に開いたのですが、たくさん事業者さんが参加できるような方法を検討してはどうかとのご意見をいただきましたので、本協議会に参加いただける事業者さんを事前に訪問させていただき、ご説明させていただいた上で協議会への参加をご依頼した次第

です。本日欠席されているマックさんからは、レジ袋無料配布中止以外の取り組みであれば参加できるとのお返事をいただいております。また、ダイキさんからは、社内で協議は行ったがレジ袋削減協議会への参加は現時点では難しいとお返事をいただいておりますので、本日協議決定した内容を持って再度お願いに上がりたいと考えております。

それでは、前回の協議会で頂いたご意見を基に作成した取り組み案につきまして、事務局からご説明いたします。

(事務局)

<資料P 1～3について説明。>

(会長)

事務局から説明させていただいた取り組み内容、目標値の設定等につきましてご意見がございましたらよろしくお願いたします。

(ママイ)

弊社の方は、この3月に協定を解消させていただき、レジ袋の無料配布中止は実施しておりませんが、皆さんと一緒に2年間レジ袋無料配布中止を実施させていただいた流れがありまして、マイバッグを持参することが習慣になっておられるお客さまが非常に多くおられますので、マイバッグの持参率は40%後半から50%前半で各店舗推移しております。そういった部分での報告は今後も継続してさせていただきます。

(マルナカ)

お店の方に確認しましたが、資料に示されている内容であればできるのではないかとのことでした。店内放送やレジでの声掛け、チラシ、のぼり等でのマイバッグ持参の呼び掛けはできると思います。1番目のキャッシュバックやポイントの付与についてですが、キャッシュバックについては会社の方へ案を上げているところです。ポイントの付与については、当社はポイントカードを発行しておりませんので、実施は難しいと考えております。後、マイバッグの持参率、レジ袋削減枚数の報告につきましては、現在、3店舗ともカウントしておりませんので、こういった形でできるのか、相談しながら検討したいと思います。

(会長)

取り組みにつきましては、「できる項目を」ということですので、全てを実施しなければならないという案ではございませんので、その辺も含めてご意見をいただければと思います。

(マルヨシセンター)

私どもの方では、マイバッグを持参いただいたお客様へポイントを付けさせていただいてお

りますし、店内放送による告知であるとか、キャンペーンのときにはポスターの掲示なども実施しております。マイバッグもかなりお客さまの目につくレジ回りでの販売をいたしております。マイバッグの持参率の報告、レジ袋の削減枚数についてはご相談させていただきたいと考えております。現在は、ポイントカードの会員様のカウントになりますので。

(レデイ薬局)

率先してやって行きたいという気持ちはあるのですが、足並みを揃えて横並びで実施させていただけたらと考えております。ですので、他のドラッグストアの方にも参加いただいて協議させていただけたらと思います。レジ袋の削減等、環境面での活動も積極的に推進して行きたいと考えておりますので、他の事業者さんと協議できる場を設けていただきたいと思いますと考えております。

最近では、ドラッグストアもお薬だけではなくて、日用品、食品なども取り扱っておりますので、マイバッグを持参いただけるお客さまには持参を推進させていただいて、そうでないお客様へは当社の規定の袋で対応させていただくというように、臨機応変に対応させていただければと思います。

いずれにしても、ドラッグストアが私ども1社だけでは、決めかねる部分がございます。

(事務局)

事前のお話では、マックさんは、マイバッグの持参についての啓発ポスターを掲示したお店もあるので、そのことの評価も含めて検討したいというお話はいただきました。基本的には協力する報告で考えたいのご意見はいただいております。コスモス薬品さんについては、協議会への参加を打診させていただいた際に、このような協議会への参加はしない方針である旨のお答をいただいておりますので、業界全体が揃ってお話することは難しいかもしれませんが、マックさんとレデイ薬局さんとの調整につきましては、事務局の方でさせていただきたいと思うのですが。

(レデイ薬局)

地元の企業2社で話ができるのではないかと思いますので、マックさんと協議させていただけるのであれば、ありがたいと思います。それと、新居浜市の削減協議会ということで、新居浜市だけで取り組んで行くものなのですか、それとも他のエリアも含めて波及させて行くものなのでしょうか。

(事務局)

新居浜市で取り組んで行くという協議会です。他市についてはなかなか進んでいない状況で、今、南予の方で検討中という所は1市有りましたが、近隣市では、今のところ動きはございません。県内におきましては、愛媛県に県内を取りまとめていただくということ、一度考えて

いただいたのですが、各事業者、自治体ともに難しいということで、それ以降は進んでおりません。当面、新居浜市内の事業者さんと協力して、もう少し前へ進んで行く方法はないかという段階です。

(レデイ薬局)

新居浜市以外にも店舗を持たれていると思うのですが、新居浜以外の店舗でも取り組まれておられるのでしょうか。

(フジ)

四国では、新居浜市と四万十市が行政の方で音頭を取ってレジ袋の削減を推進されており、その呼び掛けに賛同してレジ袋の無料配布中止を実施させていただいております。広島と山口は県が主導で推進しておりますので、山口では県内全店で、広島は福山を除く全店でレジ袋の無料配布中止を実施しております。私どもも、自分たちだけでレジ袋の削減を推進していくことは非常に難しい部分がございますので、行政さんに旗を上げていただいたら実施させていただくということで進めさせていただいております。一部松山市内のディスカウントストアでレジ袋無料配布中止を実施しておりますが、それは事前にそのような方向でお客さまにご理解いただいた上で実施しております。現在、新居浜市でせっかく実施している訳ですから、新居浜市の店舗だけで実施してみるとか、そういったことをしていただけるともっと盛り上がっていくと思います。山口ではドラッグストアさんも参加されております。

(イオン)

イオンリテールといたしましては、ここに書かれている循環型・脱温暖化社会の構築を図るということを掲げておりますので、その中でイオン新居浜につきましても、当然イオンの理念の中で動いておりますので、新居浜市の協議会に参加して、今後も取り組みを継続してまいります。今皆さんからご意見が出ていますとおり、一つでも多くの事業者さんに参加、賛同していただければ、市民の方へもより深く浸透していくと思いますので、私どもといたしましては一つでも多くの事業者さんに参加いただければと考えております。

(マックスバリュ)

今日は、大変多くの方に参加していただいて大変うれしく思っております。レジ袋削減の取り組みを始めて3年3か月が経ちますが、会社の方針といたしましてはイオンリテールさんと同じで、他のエリアでも実施しておりますし、新居浜市でもっと多くの企業さんに参加していただいて、新居浜から発信する形で、このレジ袋削減の取り組みが広がって行けばと考えております。

(コープえひめ)

多くの事業者さんに参加していただいて、レジ袋削減に関する取り組みが広がって行けばと考えております。まず、資料1ページなのですが、レジ袋削減推進協議会としての取り組みのところで、協定締結事業者とレジ袋削減推進協議会参加事業者というように二つに分けているのですが、もともとレジ袋の協定締結が、事業者の足並みが揃っていないという部分でいくつか問題も出されておりましたし、残念ながら抜けられる事業者さんもいらっしゃった、そういった状況を踏まえて、二つに分けてしまうと根本的な問題の解決にならないのではないかと感じております。これからこの活動を推進していく上で、土俵が違うとなかなか統一した活動になりにくい面があるのではないかと思います。ドラッグストアさんも含めて、なるべく多くの事業者さんが参加しやすい、できるということ言えば、間口を広くするということが一番ではないかと思っております。今後、協定を締結する事業者さんがどんどん増えていけばいいのですが、それを固定化しておいて、その周りをとというやり方では活動しづらいのではないのでしょうか。例えば、レジ袋削減の取組内容のところへ「レジ袋無料配布中止」の項目も付け加えて、一つの土俵として、このレジ袋削減推進協議会を機能させていけば、今後の活動もしやすいのではないかと感じております。

(会長)

コープさんからご意見をいただきましたが、そのことについて何かご意見はございませんでしょうか。

(事務局)

現在の協定をどうするかという点についてはいかがでしょうか。

(コープ)

できれば、多くの事業者が参加できるような内容に協定そのものを変更するというのも一つの方法ではないかと思うのですが。

(消費者友の会)

会社としては、新居浜市の取り組みに賛同して下さっているのですよね。

(レデイ薬局)

会社としては、同業間の足並みがそろえば、やっていきたいと考えております。

(消費者友の会)

私は、決まったことは全部やれというやり方では難しいと思います。それぞれの会社でできるところからやっていく、緩やか路線でやる方がいいのではないのでしょうか。

(会長)

事務局案としましては、協定は継続させていただいた上で、それ以外の取り組みを示させていただいて、それに対しての目標値の設定や持参率についてご報告いただくという内容で、幅広く皆さんに取り組んでいただけるのではないかと考えております。全ての取り組みを、協定の中に盛り込むというのは難しいのではないかと考えております。レジ袋無料配布中止の取り組みについては協定により取り組んでいる、その他についても、例えば目標を80%にするのではなくて、もう少し低い50%にして別途協定を結ぶやり方は可能ではないかと思っております。色々な方法が考えられますので、ご意見を伺えたらと思うのですが。

(ママイ)

先ほど緩やかにというご意見がございまして、イメージ的にはアバウトな感じがするのですが、現在、キャッシュバックのやり方に変更して、環境に対して前向きに取り組んでくださっているお客さまには3円値引きという形で、会社としてもサービスさせていただくことで応えていく、お客さまにも事実喜んでいただいている部分もございまして。ですから、緩やかに啓発を進めて行きながら、市民団体の方々のご協力も頂きながら、全体的に環境意識を高めていく段階で事業者の足並みを揃えていくということが望ましいのではないのでしょうか。弊社としましては、無料配布中止とそれ以外の方法と両方取り組んでみて、そのように感じているところです。

(会長)

いずれにいたしましても、レジ袋削減という目標は同じですので、それに向かった取り組みを協議会として取り組みましょうということで、レジ袋無料配布中止の取り組みを開始することが難しい事業者さんもおられますので、すそ野を広げていくために、もう少し協議会として皆さんで取り組める内容を設定したいというのが今回の主旨でございます。したがって、反対のご意見があるようでしたら、本日この場で決を取ることは難しいと思っておりますが、できるだけ多くの意見を出していただけてまとめていけたらと思っております。

(マックスバリュ)

コスモスさんがやらないのに、他の企業さんにどうですかというのは難しいと思っております。当社もレジ袋無料配布中止を開始した3年前は大変売り上げを落としました。やる店とやらない店があったら必ず弊害が起きますので。我々は無料配布中止を継続していきますが、先ほどコープさんが言われた枠を広げるといった意見には賛成します。多くの企業に入っていたかかないと難しいと思っております。やるのなら、みんな一緒にスタートしましょうというのが基本だと思います。

(フジ)

レジ袋を無料配布中止するという事は、我々にとって大変大きな判断でした。会社の方針もあり、新居浜市さんのレジ袋削減を推進する取り組みに賛同したから協定を結んだのですよ。ですから、新居浜市さんにしっかりしていただかないと、レジ袋の無料配布中止を選択肢にする、このようなことでは協定は解除になりますよ。我々はものすごい覚悟でやっているのです、売上が落ちるので、誰が保障してくれるのですか。ぶれないでいただきたい、緩やかに取り組むと言われると大変困ります。我々は、無料配布中止でマイバッグの持参率が80%以上ある訳ですから、止めますということとは言えません。協議会はやれば良いと思います、協議会として参加していただくということで切り分けて考えれば良いのではないですか。そういう中で情報交換しながら継続していけば、いつかは皆さんにも参加していただけたらと思います。

(会長)

市といたしましても、協定は第1に考えておりますので、そこに向かつての活動を、協議会全体でやる、広げていくということですので。そういった面も市民へPRしていくことは必要だと考えております。表現の仕方といいますか、協定とそれ以外を分けて考えるのか、協議会全体の取り組みとして、選択肢の中にレジ袋の無料配布中止を含めるのか。その辺りのご意見だったと思うのですが、目標の設定や報告の内容等を無料配布中止の事業者さんと同じにすることは難しいと思いますので、事務局の案でお願いできればと思うのですが。

(コープえひめ)

レジ袋削減協定締結事業者というのが、固定化していくようになっては駄目だと思っています。これからレジ袋無料配布中止に取り組んでいただける事業者を増やしていくことが必要だと思います。残念ながら、現時点ではそのようになっていない。レジ袋がごみ袋に利用できるということもございますし、無料配布中止しているところとそうでない所がございますので、なかなか浸透も難しい。ある意味では不平等感といったものを解消していくということは、やっぱり必要だと思います。一番良いのは協定締結事業者を増やしていくことなのですが、現時点ではそのようになっておりませんので、協定締結事業者を前面に出した形にしてしまうと広がりを作りきれない部分が出てくるのではないのでしょうか。今後の活動の進め方に関して、そういう部分での配慮は必要だと思います。

(環境市民会議)

ごみを減らすという部分で、レジ袋というものがごみの中でどのくらいの割合を占めるのか、統計が出ていないので何とも言えないのですが、先ほどフジさんが言われたように、レジ袋を無料で配布することを中止することは売上げを下げることですよね、それでも無料配布中止の取り組みに賛同していただいているというのは、ある意味では、売上げよりも環境に対する社会的責任を優先しているということだと思います。ですから、足並みが揃っていない

のですが、1回レデイ薬局さんも挑戦してみたらどうかと思います。1店舗だけでも試験的にレジ袋無料配布中止をやってみるとか。先ほど売上が落ちたというお話が出ましたが、それをカバーするのも企業として考えなければならないことだと思います。私の妻は、フジさんは火曜日にポイントが付くので、という理由でスーパーさんを選んでいますが。レデイ薬局さんも冷凍食品が安いということで行かれる主婦の方も多いと思います。マイバッグも1枚だけではなくて、2枚3枚と持たれていると思いますので、売り上げのためにというのもわかるのですが、取りあえず1回挑戦だけしてみてもいいのでしょうか。

(レデイ薬局)

レジ袋削減の取り組みに賛同していない訳ではなくて、会社としてはそのような取り組みを進めていくにあたって足並みを揃えたいということであって、協議会に出られていない方にも呼び掛けをしていただきたい。どうしても足並みが揃わないのであれば、その上で先ほど言われたようなことも検討していきたいと思います。当然、企業によって意識の差異はあると思いますが、レデイ薬局単体としても考えていかななくてはならないと思いますし、取り組む意思がないという訳ではございませんのでご理解いただきたいと思います。

(会長)

ドラッグストアさんにつきましては、行政としましても、もう少し踏み込んできっかけになるような会も設けられたらという気はしております。

(レデイ薬局)

協議会以外の部分でも、レジ袋の削減に関して推進しているところはあるのでしょうか。

(会長)

新居浜市地球高温化対策地域協議会で275団体に参加いただいております。ここでは市民側からマイバッグを持って買い物イ行きましょうという方向で、レジ袋を削減する取り組みを進めております。こちらも10月の1日から5日まで市内25店舗で、マイバッグをお持ちでないお客さまにマイバッグを配布するキャンペーンを実施いたします。

(事務局)

去年も同様に地球高温化対策地域協議会の方でマイバッグキャンペーンを実施いただいたのですが、お店の方に事前にご連絡させていただいてのぼりを立てさせていただいたり、ポスターを貼らせていただいたり、キャンペーンにつきましても実施させていただいて構わないか、ご意向をお伺いした上で実施させていただいております。その時点では、ドラッグストアさんからは、店舗でマイバッグの持参をお願いする声掛けをすることは逆にプレッシャーを掛けしてしまう恐れがあるということで、キャンペーンの実施は見合わせております。

次に、資料のP4、5になるのですが、現在、レデイ薬局さんへはのぼりを立てさせていただいておりますし、キャッシュバックや店内放送につきましても、今回ご参加いただいている事業者さんには既に実施いただいている項目で設定させていただいております。そのことについて、目標値を設定いただいて持参率をご報告いただき、市民の方に広報することですそ野を広げ、マイバッグの持参率を高めていくということで、前回の協議会でいただいたご意見を踏まえて案を作成しております。キャンペーンにつきましても、協議会でのご意見によってマイバッグを使っただけの市民の方を増やすという観点から、無料配布中止実施店舗以外で実施させていただいているところです。4月から毎月市民団体の方にもお手伝いいただいて、マルナカさん、マルヨシセンターさんで実施させていただいております。

(会長)

市としましては、無料配布中止の協定は継続していただきたいという気持ちでおりますし、そこを目標にしたいと考えております。ただ、それでは固定化してしまうところもございますので、何か新たに取組めないかということで、レジ袋無料配布中止以外の事業者さんの取組みを、協議会としてもっと表へ出させていただいて、それから次のステップへ上がっていくようなことも模索していきたいということでございます。ですから協議会として無料配布中止を目標として取り組むことを考えております。事務局案でまとめさせていただけたらと思うのですが、無料配布中止以外の取組みについての削減目標につきましては、今までの取組み状況を踏まえてそれぞれ事業者さんで設定していただいて、毎年の結果を踏まえて引き上げていくやり方で進めさせていただけたらと考えております。

(イオン)

市としての削減目標がよくわからないのですが、先の繰り返しになりますが私はフジさんがおっしゃられたことに尽きると思っています。当然、イオンといたしましては会社としての理念に基づいてこのような活動に取り組んでいますが、新居浜市としてこのような協定を作ったのですから、協定を締結した企業は何だったのか、また、目標も各企業で決めてくださいとおっしゃいましたが、実際に新居浜市で商売を営んでいるかたが一律でやっていない訳だから、イオン新居浜店では持参率は下がってきております。なぜ下がってきたのかというのを見ると、これに賛同して無料配布中止をやる店舗が増えてこないからなのです。1年経って何店舗増えたとか、キャッシュバックやポイント制もやっていただければいいのですが、無料配布中止をしている店舗が目に見えて増えない限り、市民の方お一人おひとりの見識にも差異がございますので。イオンにおきましても、3年経っても、食品のレジを通りながら「5円も取るんだ」というご意見は絶えないです。「もうしわけございません」と謝りながら5円を頂く。私たちはサービス業ですから、サービス業としてなぜ謝りながら5円を頂かなければいけないのかというのがありますし、当然、世界中が環境活動に取り組んで行こうと見識が高まっている時代です。企業ステータスというものも一方ではあるだろうと思うのですが、なかなか商売上平

等な立場にないと競争社会ですから苦しいところもございますので、市がどれだけ熱い思いがあって、我々新居浜市で商売をすると決めた事業者に対して、どこまで強く求めるのかというものをきちんと言っていたかかないと、市が描いているような、描いていることがよくわからないのですが、よりよい循環型社会にはなっていないのではないかと思います。どこまで、どうしてほしいのか市にはっきり言っていたきたいのですが。コンビニやドラッグストア等、目薬1本、ジュース1本で袋はなかなか持って行けないという部分はあると思いますので、商売の形態によって市の方で線引きを考えると、何かやっていただいてもいいのではないかと思いますのですけれど。

(フジ)

今日は、いつも来られていない企業さんにも出ていただいて情報交換ができるということで、協議会全体にとっては前進したかなと思います。会に出席して情報交換するだけでは何なのだろうと感じます。先ほど協定を前提に進めていくとおっしゃいましたが、じゃあ、誰が、いつまでに、誰に対して、どのように行動するのか、全然明確にならないまま会議が終わろうとしている。何が決まったのか全く見えてこないです。市の目標も全く見えないし。次の会までに、事業者として何をするのか、市の方に何をしていただきたいのか我々としても要望していきたい。前回は話に出ましたが、無料配布中止に参加いただいている企業さんの方もレジ袋削減については賛同いただいている訳ですから、ただ、マイバッグ持参率を80%に引き上げるにはレジ袋の無料配布中止しかないということは感じられていると思います。それをするために我々企業はどうすればいいのか、市民団体の方々にはどのように働きかけていけばいいのか、機運を高めていくということが大事ですから、レジ袋無料配布中止以外のマイバッグ運動を推進していくことも大事ですが、最後には市として法律で決めていただくということが本当は一番良いのだと思うのですが。それに向けて進めていけるのかどうなのか、何が障害なのか、その辺りが見えてこないまま終わるのはどうなのかと思います。みなさん忙しい中、遠方からも来ていただいておりますので、次の行動を決めないまま終わるのはどうなのかと思います。その辺りはいかがでしょうか。

(会長)

目標が見えないというご意見につきましては、協定にございます80%以上のマイバッグ持参率、ここが大きな目標であることには間違いはございません。それと法的なものであるとか方向性につきましては、今回の案としてご提示させていただいているのは、協議会としてレジ袋の削減に取り組めないかということでございまして、これが難しいということであれば条例化についても考えなければならないと思っております。ただ、行政の方で一方的に条例を設ける訳にはいきませんので、事業者さんや市民団体の方々のご意見をお伺いしながら、次の段階ということで進めていくということになるかと思っております。

(フジ)

3年3か月が経つのですが、3年3か月がたってもまだ意見を聞けていないということですか。いつまでに聞いて条例化に向けて進むのか。

(事務局)

条例において、新居浜市で営業されるスーパーさん等にレジ袋の無料配布中止を規定することはできませんので、その上で、今まで3年間活動させていただいたのですけれど、無料配布中止実施店舗は増えなかった。そのような状況の中で、前回の協議会におきまして、無料配布中止にこだわるよりもそれ以外の取り組みも含めて、全体的にマイバッグの持参率が上がるように、協議会として無料配布中止以外の取り組みも支援してはどうかのご意見を頂いて、今回の案をご提示させていただいております。これは協議会として自主的に取り組んでいただくという考え方ですので、この取り組みも難しいということになった場合には、条例という話になると思うのですけれど、条例の場合も目標値を設定して、毎年マイバッグの持参率等を報告していただく、それぞれ店舗で実施可能なレジ袋削減手法で取り組んでいただくという内容になります。

(フジ)

レジ袋無料配布中止を条例に規定することができないということは分かります。ただ、目標値を何%にしましょうとか、ごみ袋を規制しましょうということはできると思いますよ。そちらの方はどうなのですか。

(事務局)

新居浜市の場合は、ごみ袋の有料化を一度提起して、結果延期しますということになりました。ごみ袋の指定の方式は色々ありますが、基本的にはごみの減量をするために、ある程度経済的に負担感のあるような値段で決められたごみ袋を使っていただく方法で、そのことを動機にごみを減らすというものです。その提案は、連合自治会等、色々なところからの要望もあって延期と言いますか、中止になりました。ですので、11月に市長選挙も予定しておりますが、いつまでに再提起するかということについては決まっておりません。

先ほど、市で目標を示すというお話も頂いたのですが、基本的にはそれぞれの事業者さんが目標を立てていただいて、そのためにこのような取り組みをしますということを継続していく中で、その結果等について協議会で協議することによって全体的に数値を上げていくというような自主的な協議会に賛同していただいているとは思っておりますので、始まりにあたって市の方で何%にして下さいと言うよりも、継続することでそれぞれの取り組みが進んだり、市民の意識が変わったりするような形で案を考えております。

(フジ)

新居浜市さんが全体のレジ袋をどうしたいかが大事なのですよ。新居浜市全体のレジ袋がどの程度あるのかは分かりませんが、その8割を減らしたい。我々はそのことに賛同してやっていますということです。我々は新居浜市にレジ袋は無料配布しませんということを宣言していただきたい。条例で規定するのが難しいのであれば、宣言をしていただきたい。宣言ならできるでしょ。市民の皆さんにレジ袋はもらわないということを認識していただかなければ、逆にこの店はもらえるのというくらいにしていかなければならないと思います。東海、中国地方はかなり進んでいます。四国が全国の中で一番遅れている。そこで、先駆けて新居浜市でしている訳ですから、もっと大胆にするべきだと思います。

(消費者友の会)

私は一人ひとりの意識が変わっていく為には、いきなりは難しいと思いますので少しずつ変わっていくように継続しなければならないと思います。色々な考えの方がおられる訳ですから、そんなに簡単に変わらないと思います。私たちも協議会での内容を別の会で説明しておりますが、皆さん理解はして下さいますがなかなか行動の変化までには至りません。このような問題は、お年寄りから小さいお子さんまで幅広く意識を少し変えていくところから始まるものだと思いますので、ごみ袋の問題にしましても、決まったごみ袋でなければ捨てられないようにすればいいだろうなどはと思いますが、本当に色々な考えの方がおられるので難しい問題ですけれど、今回これだけの事業者さんに参加いただいたことも1歩前進だと思います。

(会長)

色々ご意見を頂いたのですが、今回、レジ袋無料配布中止以外で協議会へ参加いただいている企業さんのレジ袋削減に関する取り組みも、協議会の取り組みとして報告まで結びつけていくということで承認いただければよろしいでしょうか。協定を締結している事業者さんには、無料配布中止の取り組みの継続をお願いしたいというように考えているのですが。後は、市としての目標値であったり、宣言であったり、条例化についても課題として早く実施できる方向で進めていきたいとは思っています。宣言につきましては、新居浜市民としてマイバッグを持つことの宣言、そういったことも考えられますいろいろな角度から検討する必要があると思っております。

(レデイ薬局)

中途半端だと全然まとまらないと思いますよ。ある程度、新居浜市としての方向性を示していただかないと、参加されない企業はずっと参加されない、環境のことも全く考えないという企業があっても、全体が上がっていけば良いという考えではなくて、今回参加されていない企業さんにも呼びかけをして参加いただいて、みなさんのご意見等を聞いたら気持ちも変わると思いますので、条例で規定することができないのであれば、とにかく協議会に出て来ていただ

いて皆さんのご意見を聞いたら変わってくる可能性も高いと思います。また、宣言についても検討していきたいとおっしゃいましたが、いつまでにご報告いただけるのかご回答いただけませんでしょうか。

(会長)

時期的に言いますと、11月に市長選がございますのでその後になりますが、年内までにもう一度協議会を開催させていただくということによろしいでしょうか。

(フジ)

それは、協定締結事業者とそうでない事業者と2段構えで行くということでしょうか。

(ママイ)

協定参加事業者は80%という目標がございます。弊社と、マルナカさん、マルヨシさんはいつまでに報告を提出して、出した報告というのはどういう形で市民の方へ提示されるのでしょうか。私どもは今まで続けておりましたので、55%程度の目標は立てられると思うのですが、マルナカさん、マルヨシさんの目標と差があった場合に、市としてどういうアプローチをするのかという問題がございます。取り組みの内容、状況によって目標数値は変わってきますので、その辺はどう考えておられますか。

(事務局)

報告につきましては、協定いただいている事業者さんと同じように、1年間の数字を翌年度の4月の末までにご報告いただくことを考えております。報告いただいた内容をまとめて、6月に広報誌などで市民の方々へ報告、広報することを考えております。また、目標数値を結果等の活動内容を協議会でお伺いして、翌年度の目標値や活動内容について協議させていただきたいと考えております。

(ママイ)

あくまで目標は企業ごとに設定するというのでしょうか。

(事務局)

それぞれ企業さんの現況があると思いますので、市の方で何%にさせていただきたいというのは現時点ではございません。ただ、レジ袋削減活動に関する結果は市民の方にお知らせしていきたいと考えております。

(会長)

今回の提案は、スーパーさんであったりドラッグストアさんであったり、それぞれ状況は違

うと思いますので、目標数値というのは事業者さんごとで違うのではないかとということでそのように提案させていただいております。

(ママイ)

無料配布中止をされていない企業さんの数値は12、3%だと思いますよ。

(会長)

ですから、それを何%にもっていくかということは事業者さんで検討していただいて、次の年は次のステップというように考えております。レジ袋無料配布中止のように、即効果が出るというようなことにはならないと思いますが、すそ野を広げていくためにはそのような活動が必要ではないかと考えております。

(フジ)

すそ野を広げるのが目的であれば、協定を見直せばいいのではないのでしょうか。すそ野を広げたいのであれば協定の見直しをかけて、マイバッグ持参運動に切り替えればいいのではないのでしょうか。

(会長)

市の協定とそれ以外の協議会メンバーで取り組める内容として考えております。

(フジ)

企業さんの協定を結んでいない理由と、どうすれば結べるのかということについてはご理解されておりますか。

(会長)

レジ袋そのものを有料化することについて、現時点で会社としてそこまではできないとのお考えであることはお伺いしております。

(フジ)

企業さんのご意向をお伺いして、糸口が有るのであれば協定締結に向けて進めばいいし、無いのであれば協定を見直すしかないと思います。

(レデイ薬局)

新居浜市としての指針が不明確であって、参加したい企業はやってくださいねというようなあいまいな部分もあります。二つ目としては競合店といますか、一斉にやりませんかというような呼びかけができていない部分もあって、まずは参加企業を増やして協議をした上で足並

みを揃えて同時に実施させていただきたい。3つ目としては、営業面から言うとデメリットが多い、私どもだけ先行してやることについては、営業側からはできないと言われております。説得する材料としては、参加企業を増やして一斉にやるということでなければ難しい。また、宣言ではないにしても、条例で条文化されている。また、企業でレジ袋削減目標を決めるというのはとんでもない話で、市の方で80%を目標に皆さんやってくださいね。というような指針が出ればそれは協定を結んでやっていけばいいのではないかと私は思います。

(ママイ)

足並みを揃えて欲しいということです。

(マルナカ)

最初のごみを削減したいというお話で、その一環としてレジ袋を削減したいということで協議会の方へ参加させていただきました。その途中で、ごみ袋の有料化が無くなってしまって、レジ袋の無料配布中止の話だけになってしまった。我々とししたら、レジ袋の削減ということで言えば、レジ袋の回収・再利用化ということもやっております。それ以降の協議会では条例化等の話もあったと思うのですが、12月以降はイオングループとなりましたので、今後グループの方針に沿って動いていくということになりますので、今後全くやらないということではないと思います。

(マルヨシセンター)

弊社内で、まだそこまでは検討しておりません。

(レデイ薬局)

そのことに対して、市としてどういったアクションを起こされるのでしょうか。

(会長)

足並みを揃えるということであれば、一定の線を引けるのは条例ということになります。ただ、無料配布中止を規定することはできません。

(レデイ薬局)

ですから、できる範囲で条例化して行って、みんなの意識を少しずつ変えていけばいいではないですか。「条例でも定めておりますが、新居浜市としては80%を目標に取り組みで行きますので皆さんで推進していきましょう。」というようなことでも良いと思うのですよ。ポスターを作って企業さんに配布するとか、参加も呼びかけて協議をする中で足並みを揃えていくと、一度に全社が協定を結ぶのは難しいかもしれませんが、そのような取り組みが必要だと思います。

(会長)

年内にその辺も含めてみなさんへお示しできるようにしたいと思います。年内にもう1度お集まりいただけたらと思います。

(レデイ薬局)

12月に集まって報告するだけであればFAXでもいいです。

(会長)

市の考えをお示しするということですので、そのような方法でもよろしければ、また各事業者さんを回らせていただくようにいたします。

(マルヨシセンター)

ごみを減らすという目的といいますか、その方法レジ袋に集中していますが、レジ袋がごみ問題とどこまで直結しているのか示す必要があるのではないのでしょうか。

(ママイ)

ごみの削減については、どの企業さんもトレイのリサイクルをはじめかなり努力されていると思います。それは循環型社会へ向けての各企業の強力だと思うのですが、それがレジ袋だけに特化されておりますので、新居浜市はごみも含めてどうやって削減していくのかということも示していただかないといけないと思います。

(商工会議所)

やっぱりレジ袋がごみ袋として助かっているという意見も多いです。しかしながら、会があるごとにマイバッグ推進の言葉掛けはしていきたいと思います。

(女性連合協議会)

自分自身マイバッグを持って行く、また市民へそのように広げていくかという立場で活動しております。レジ袋無料配布中止店へは意識してマイバッグを持って行きますし、レジ袋をもらえるお店へも、意識して必ず持って行ってあります。締結していないお店ではレジ袋をもらっているお客さんは多いです。新居浜市としてこれだけやっているのに、どうしてかなと感じるときがございます。今日お話を伺って、事業者さんの立場、市としての働き掛け、そして市民としての努力といいますか、その3つが上手く絡み合って取り組んで行かなければ、本当の意味でレジ袋の削減は実現していかないと感じました。もう一つ、山口県では県全体で行っているようですが、そこでもこのような現状はあるのでしょうか。

(事務局)

山口でもございます。

(マックスバリュ)

山口には指定のごみ袋もありますし、地場のスーパー3社が圧倒的なシェアがありますので、そこがやると言えばほとんどのスーパーの足並みが揃う状況です。

(消費者友の会)

マイバッグ持参キャンペーンで色々なお店へ行きますので、その時はよろしくをお願いします。

(グループさつき)

この活動の原点は、将来により良い環境を残そうということだと思います。レジ袋の削減ということで活動している訳ですけども、少しでもこの地球を大切にしようという気持ちをみんなが持てたらいいなと思います。私は自宅から近いマルヨシセンターさんを良く利用するのですが、協定に参加いただいていないことを非常に心苦しく思っております。ですから新居浜市にはお願いに行って欲しいと思います。この間から店舗の前でキャンペーンもさせてもらっておりますので、みんなで協力し合ってよりよい環境を残していけたらと思っております。

(商工会議所)

一気にはいかないと思いますが、お店にもレジ袋を出しすぎないようにお願いしたいし、お客さまに対してはマイバッグの持参の働き掛けも必要ではないかと思っております。

(会長)

12月を目途に市としての方針をご連絡させていただきたいと思っております。25年度の活動計画につきましても別途ご連絡させていただきます。

(事務局)

今年度のポスターを作成しておりますので、必要枚数をお持ち帰りいただけたらと思っております。

(会長)

これで第11回新居浜市レジ袋削減推進協議会を閉会いたします。本日は長時間にわたりありがとうございました。